

# 凍結・解凍標品 及び L-乾燥標品 の復元方法

微生物サンプル(クライオチューブ、ガラスアンブル又は試験管に封入されています)は、お手元に届きましたら、下記の微生物サンプルごとの取り扱いを参照の上、培養を開始してください。

## 各微生物サンプルの到着後の取扱い：

**L-乾燥標品(ガラスアンブル)：** 常温でもある程度の期間は安定していることが知られており、1週間程度放置されても死滅することはありません。直ちに復元作業を開始しない場合は、冷蔵(4℃)で保管してください。

**凍結・解凍標品(クライオチューブ)：** 到着後は直ちに新鮮な培地に接種し、培養してください。もし数日以内に培養を開始できない場合は、冷蔵(4℃)で保管してください。通常、1週間程度は保存可能です。

**生菌(試験管)：** 到着後、直ちに新鮮な培地に接種し、培養してください。(生菌についての添付書類がありましたら、そちらをご参照ください。)

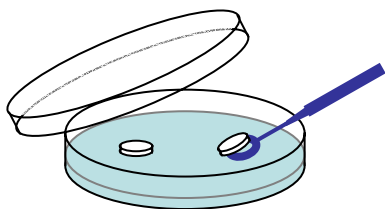
なお、復元に関するご相談は、微生物サンプル受領後1ヶ月以内をお願いします。

---

## 凍結・解凍標品(クライオチューブ)の復元方法

本クライオチューブ内の菌体ディスクは、寒天培地に培養した当該菌株を、寒天ごと打ち抜いて凍結保存していたものを分譲時に解凍した標品です。この標品の復元は以下のように行ってください。

1. 別記の復元用培地を用意する。
2. 本チューブの表面を、75%アルコール液を浸したガーゼ等で消毒する。
3. チューブ内の凍結保護液に浸された菌体ディスク2個を白金耳または鉤で取り出し、上記(1.)の培地に移植する。



注) ディスクをできるだけ崩さないように培地に置いてください。

4. 指定温度で培養する。生育に長時間を要する菌株もあるので、必要に応じて2週間以上培養する。

---

## L-乾燥標品(ガラスアンブル)の開封と復元の方法

ガラスアンブルに封入されているのは当該菌又はバクテリオファージのL-乾燥標品です。この標品の復元は裏面の図を参照して次のように行って下さい。

1. 復水液と復元用培地(処方は標品に同封)を用意する。
2. アンブルに封入された綿栓の中央部にヤスリ又はダイヤモンドアンブルカッターで傷をつける(図 )。
3. 傷を入れたアンブルを75%アルコールで消毒した後(図 )、乾熱などで滅菌したガーゼに包み、注意深く折る(図 と )。

[アンブル内は真空になっており、折る際にアルコールで湿ったガーゼを用いるとアンブル内にアルコールが入り、乾燥菌体が死滅するおそれがあるのでご注意ください。]

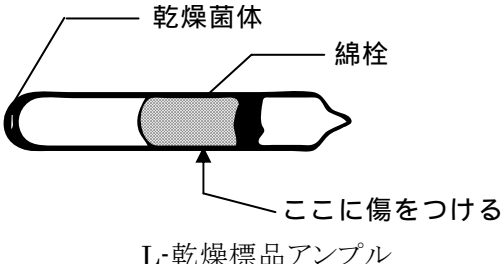
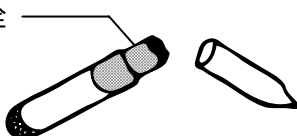
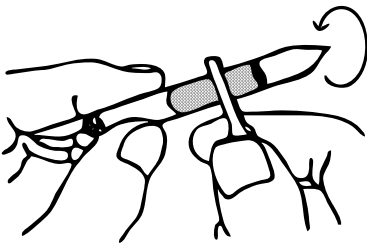
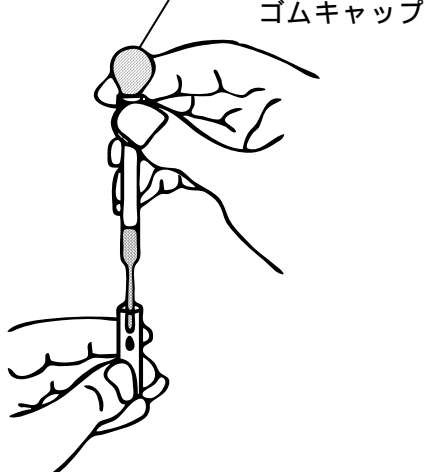
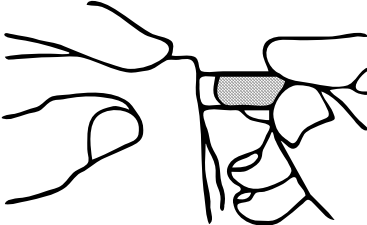
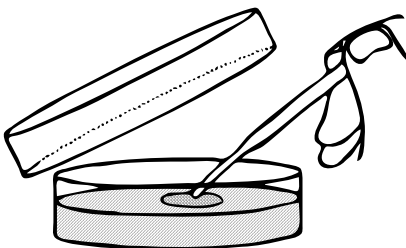
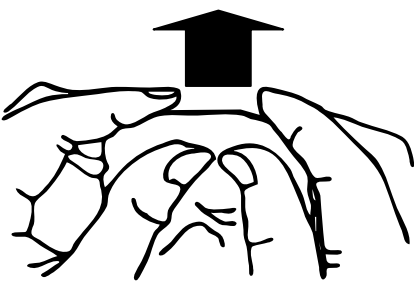
4. 開封後、直ちに滅菌したパスツールピペットを用いて、復水液約0.2 mlを加える(図 )。しばらく(数分間)置いてから、よく攪拌して菌体を懸濁させた後、復元培養基(液体、斜面、平板)に接種する(図 )。

[バクテリオファージの復元方法は4まで同一です。宿主菌をソフトアガー(0.6%)とともに平板培地にまきます。固形化後、ソフトアガー上にバクテリオファージを含む復水液を重層して下さい。溶菌斑が判別しにくい場合もございますので、全体に重層するのではなく、一部残しておきます。(次ページへ続きます)]

(なお、バクテリオファージの復元には宿主菌が必要です。お手元に該当宿主菌が無い場合は別途ご注文下さい。)

5. 至適条件で培養を開始する。生育に長期間を要する菌株もあるので、必要に応じて2週間位は培養を続ける。
6. 使用後のアンプルは滅菌して捨てる。

図：L-乾燥標品アンプルの開封と復元の方法

 <p>乾燥菌体 綿栓 ここに傷をつける L-乾燥標品アンプル</p>	<p>④</p>  <p>綿栓</p>
<p>①</p>  <p>ヤスリまたはアンプルカッター※で約半周傷を付ける</p>	<p>⑤</p>  <p>ゴムキャップ</p> <p>綿栓をとり、指定された復水液を滅菌パスツールピペット等で加え、しばらく(数分間)置いてから標品をよく懸濁する。</p>
<p>②</p>  <p>アルコールを含ませたガーゼでアンプルを消毒する</p>	<p>⑥</p>  <p>指定された復元培養基に菌液を接種する(細菌・古細菌の場合は液体培地にも接種し培養して下さい。液体培地でのみ復元できる菌株があります。)</p>
<p>③</p>  <p>乾熱などで滅菌したガーゼ(死滅の恐れがありますので、アルコール綿は使用しないで下さい)に包み、傷側を外に向けて折る。</p>	

※ ダイヤモンドアンプルカッターについては下記へお問い合わせください。

〒105-0003 東京都港区西新橋2-9-7 クインズビル  
東西通商株式会社  
TEL 03-3502-8231 FAX 03-3502-8234

〒571-0051 大阪府門真市向島町4-11  
岩田硝子工業株式会社  
TEL 06-6902-9391 FAX 06-6902-0330